

## 南山大学 FD 活動概要 FD 活動の現状と方針

1998 年 10 月 26 日に、大学審議会から「21 世紀の大学像と今後の改革方策について」という答申が提出されました。その答申において、「各大学は、個々の教員の教育内容・方法の改善のため、全学的にあるいは学部・学科全体で、それぞれの大学の理念・目標や教育内容・方法について組織的な研究・研修(ファカルティ・ディベロップメント)の実施に努めるものとする」ことが提言されました。また、2005 年 1 月 28 日の中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」においても、高等教育の質を保証する上で、教員個々人の教育・研究能力の向上が不可欠であることが指摘されました。これを受けて、2008 年 4 月 1 日から大学設置基準が改正・施行され、そこでは「大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するもの」と規定されています。

南山大学では、これまで「FD 講演会」「新任教員研修会」「学生による授業評価」「プレゼンテーション研修会」「情報機器の操作説明会」「外部 FD 研修会への参加」などいくつかの FD 活動に取り組んできました。また、学科によっては、学科カリキュラム全体の評価に取り組んだり、学生による授業評価結果を相互に開示しあって学科全体で授業の改善に取り組んでいる学科もあります。

南山大学が、選ばれる大学であり続けるためにも、大学全体の教育力のさらなるレベルアップが必要と考えます。今後、FD 活動に特化した自己点検・評価を実施し、学部・学科ごとにそれぞれの実情に即した適切な目標を設定し、各単位ごとに積極的に FD 活動に取り組んでいきたいと思えます。